



プレスリリース

2025年4月22日

マレリ、オート上海 2025 で先進的なライティング技術を展示

Pixel リア・ランプ、近接地面投影、Thin Lit Line ヘッド・ランプなどのソリューションは、車両と車両デザインのインテリジェントな相互対話により新たなフロンティアを築く

自動車業界のグローバル・テクノロジー・パートナーであるマレリは、2025年4月23日から5月2日まで上海国家会展センターで開催される「オート上海 2025」で、最新の自動車照明革新技術を披露します。「Fast Forward. Forward Fast.」をテーマとしたブースは、ホール 1.2H のスタンド 1BF009 に位置し、マレリの自動車照明技術の革新として、世界初の OLED TFT の Pixel リア・ランプへの適用、近接地面投影技術、そして革新的な Thin Lit Line ヘッド・ランプを展示します。これらのソリューションは、スマート・モビリティの新しい体験を定義し、顧客との共創を通じて自動車の照明の進化を促進します。

Pixel リア・ランプ：自動車のテール・ライトの未来

世界初の技術として、マレリは「Pixel リア・ランプ」と名付けた製品コンセプトを披露します。これは、OLED-TFT 技術を活用して高解像度ディスプレイ技術をテール・ライトに統合し、動的な光コミュニケーションとパーソナライズのトレンドに対応します。この革新により、Pixel リア・ランプは他の道路利用者に向けて車両の状態や運転意図を動的な画像として表示し、運転の安全性を大幅に向上させます。また、この技術は自動車デザイナーに前例のないデザインの自由をもたらし、パーソナライズされた照明シグネチャを可能にします。

Pixel リア・ランプは、ビークル・トゥ・エブリシング（V2X；周囲環境との通信）統合のシームレスな実現も可能にします。従来のミニ LED およびマイクロ LED ディスプレイ・ソリューションと比較して、Pixel リア・ランプは、繊細で滑らかな動的画像表示を維持しながら、コストを大幅に削減します。

近接地面投影: 安全でスマートな相互対話のために設計されたシンボルのディスプレイ

マレリの近接地面投影は、地面に動的なカラー投影を可能にします。それぞれのモジュールが車両の前、後ろ、側面に取り付けられることで、360度の照明効果を作り出します。この革新的な技術は、車両の安全性を大幅に向上させ、車両、利用者、他の交通参加者の間の相互対話を大いに改善します。安全性の面では、車両の動作（曲がる、バックする、緊急ブレーキ、乗客の降車など）について、周囲の車両や歩行者の注意を喚起するために、リアルタイムで明確なカラー警告標識を投影できます。スマートな相互対話の面では、自動運転の状況、バッテリーの状態、走行可能距離、オーナーの連絡先情報を含む個人 QR コードを動的にリアルタイムで表示し、利便性と直感的な相互対話を向上させます。カスタマイズの面では、ウェルカム・ライト・カーペットをサポートし、映画やインタラクティブ・ゲームを投影することも可能で、パーソナライズされた車両の表現や車内エンターテインメントの需要に応えます。



重さがわずか 60 グラムのコンパクトで軽量のプロジェクション・モジュールは、ドア、サイドミラー、フェンダーなどに柔軟に取り付けることができます。少なくとも 50 ルーメンの明るさと 200,000 ピクセルの解像度で、44 インチのテレビ以上のエリアにフルカラーのダイナミックなストリーミング・コンテンツを投影します。マレリのブースでは、「h-Digi® microLED & 近接地面投影」を紹介しており、ヘッドランプに近接地面投影を統合することで、フルカラーのダイナミック・ストリーミング・コンテンツを明るさ 100 ルーメンと 400,000 ピクセルの解像度で地面や前方に投影可能にしています。投影エリアは 100 インチのテレビに匹敵し、屋外キャンプやエンターテインメントに最適です。

Thin Lit Line ヘッド・ランプ: 自動車照明の美学と機能を再定義

マレリの最新世代の Thin Lit Line ヘッド・ランプは、わずか 5mm という前例のない細さで自動車照明デザインの境界を押し広げます。この画期的な超薄型デザインは、従来のスタイリングの制約を取り払い、先進的で未来的な自動車の美学に対する消費者の要求に応じた、独自でパーソナライズされた車両外観を自動車デザイナーに提供します。

その極めてスリムな外観にもかかわらず、Thin Lit Line ヘッド・ランプは、アダプティブ・ドライビング・ビーム (ADB)、ロー・ビーム、ターン・シグナル、デイ・タイム・ランニング・ライトといったコア機能を統合し、幅広いカスタマイズオプションを備えています。これは、マレリの卓越した光学設計能力と深い技術的専門知識を反映しています。

近接地面投影モジュールと Thin Lit Line ヘッド・ランプは、どちらも速やかに量産可能です。マレリの標準化されたモジュール・プラットフォームと大規模なローカル開発能力により、製品開発サイクルは大幅に短縮されており、自動車メーカーが急速に変化する市場需要に迅速に対応し、革新的技術の迅速な量産と漸次アップグレードを効果的に達成するのを助けます。

マレリのライティング事業部プレジデントであるフランク・フーバーは、「オート上海において、世界で初めて外装照明に OLED TFT を適用した『Pixel リア・ランプ』を披露できることを誇りに思います。これに加えて、『近接地面投影』モジュールと『Thin Lit Line ヘッド・ランプ』という他の 2 つの優れた革新を紹介しています。これらのソリューションは、自動車照明分野のトレンドを引き続き牽引するという野心の表明であり、また、顧客と共同創造を行い、車のデザインと運転体験を高め、パーソナライズしつつ安全機能を向上させる、私たちの姿勢を現しています」と述べました。

マレリ EVP 兼マレリ中国プレジデントであるケレイ・シェンは、「自動車照明のリーダーとして、マレリは世界最大の自動車市場で革新を推進し、安全でスマート、そしてよりパーソナライズされたモビリティ体験を提供することに専心しています。オート上海で展示した最新技術は、革新へのコミットメントと、自動車デザインの美学とインテリジェントな相互対話に新たな基準を設定するものです。これらの革新は、アイデアを迅速に量産可能な高度なソリューションに変換し、顧客の要求に効果的に応える我々の能力を強調しています」と述べました。



訳注：当文書は 2025 年 4 月 22 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

マレリについて

マレリは自動車業界をリードするグローバルなモビリティ・テクノロジー・サプライヤーです。技術革新と卓越した製造において確固たる実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーとの協力を通じてモビリティの未来を変革し、より安全で環境に優しく、より良いコネクテッド・ワールドを創造することです。全世界に約 45,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに 150 以上の施設と研究開発センターを有しています。